

3月号 「褥瘡(床ずれ)」

○褥瘡とは？

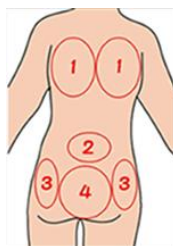
身体的一部分（特に骨突出部や体重のかかる場所）が長時間にわたり圧迫を受け、皮膚組織の循環障害が起こり、発赤、腫脹、表皮剥離、潰瘍の形成を経て、ついには壊死に陥る状態です。

褥瘡は、健康な方の皮膚には発生しません。

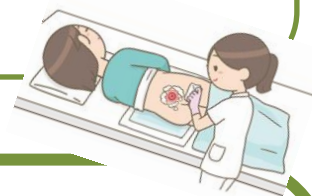
どんな方に起こりやすい？

- 寝たきり、長時間同じ姿勢でいる
- 麻痺がある（感覚の低下）
- 栄養状態が悪い（皮膚の治癒力の低下）
- 脳神経系、循環器系の疾患がある
- 痩せ型（筋肉や皮下脂肪がなく一点への圧迫を受けやすい）
- 肥満 など

褥瘡が出来やすい場所



- ①肩甲骨 ②仙骨部
 - ③大転子部（太腿の付け根外側）
 - ④坐骨結節 ⑤踵 など
- 体重のかかりやすい骨突出部



○褥瘡の予防策

◎仰向けの場合

拘縮が生じやすい頸部、肩関節、肘関節、膝関節、足関節を安楽な姿勢にさせ、ベッド面から身体が浮いてしまう○の場所にクッションを入れ隙間をなくしましょう。



◎横向きの場合

頸部や肩、腰部の過度な捻りを避け、ベッド面から高くなる側の背中や両足の隙間等にクッションを入れましょう。寝たきり患者様の場合、横向きになることで肺に酸素が入りにくい「無気肺」の予防になります。



◎現在のサービスの空き状況

	月	火	水	木	金	土
《午前》9:00~12:00	○	△	○	○	△	○
《午後》13:00~17:00	△	△	△	△	△	△

◎…何時でも可能

○…空きあり

△…空き僅か

×…空きなし

【お問い合わせ】 総合東京病院 訪問リハビリテーション

TEL：03-3387-8738（直通）

FAX：03-3387-5611

責任者：片桐 創太

作成者：坂本 莉子